

# 平成 11 年度岡山県血液透析患者の実態に関するアンケート結果

木本 克彦

## はじめに

今回のこの調査は、岡山県下の慢性血液透析患者が現在かかえている様々な問題を明らかにするため、岡山県腎臓病患者連絡協議会と岡山県医師会透析医部会とが協力して行ったものである。これにより県下の透析医療のさらなる改善をはかるとともに、患者と医師のよりよい関係を築くために役立てたいと意図したものである。このような調査は全国規模ではすでに行われているが、本県では今回がはじめての試みで、そのため十分なお回答をお寄せいただけるとかどうかわからない不安もあった。しかしここにお示したように、まずまずの回答を得ることができた。これは一重に患者各位の多大なご協力によるものである。

## 1 調査の対象と方法

調査の対象は、平成 10 年 12 月末の時点で県下に 3,001 名の慢性血液透析患者がおられるということで、そのすべての患者に調査票を医療機関を通じ配布した。平成 11 年度 2 月初旬の状態を、原則、患者自身により記入していただき、医療機関名、患者名は無記入とした。患者会、又医療機関を通じ回収を行い、集計作業は岡山県医師会透析医部会事務局が行った。

調査項目（設問）は、患者会および医師会の代表者数人により、既存のアンケートなどを参考に作成した。その範囲は、「療養に関すること」「就労・経済的な問題および生活に関すること」「通院、入院、

介護に関すること」「将来に関すること」などとし、患者さんの理解、判断に重きを置いて回答していただいた。調査票はほぼ 2 カ月で回収を終え、有効回答分 2,199 票を対象に集計を行った。（回収率：2,199/3,100×100=73.38%）

## 2 アンケート結果

以下にアンケートの内容とその回答を報告する。

- I. (1)～(15)までは全ての方がお答え下さい。  
— 全ての方にお尋ねします。—

- (1) あなたの性別は？

1. 男性	1,257/2,199	57.16%
2. 女性	942/2,199	42.84%

- (2) あなたの年齢は？

1. 全 平均	60.66 歳
2. 男 平均	60.33 歳
3. 女 平均	61.08 歳

### 対象者の年齢分布

総 数	総 数		
	2,199	男 1,257	女 942
19 歳以下	14	9	5
20～29 歳	33	24	9
30～39 歳	69	44	25
40～49 歳	281	155	126
50～59 歳	592	330	262
60～69 歳	620	368	252
70～79 歳	455	254	201
80 歳以上	135	73	62
64 歳以下	1,279	736	543
65 歳以上	920	521	399

(3) あなたの原因疾患は？ 一つ選んで下さい。

1. 非糖尿病性腎疾患	1,327/2,199	60.35%
2. 糖尿病性腎疾患	446/2,199	20.28%
3. その他	349/2,199	15.87%
4. 無回答	77/2,199	3.50%

(4) あなたの透析方法は？

1. 血液透析	2,014/2,199	91.59%
2. CAPD	50/2,199	2.27%
3. その他	18/2,199	0.82%
4. 無回答	117/2,199	5.32%

(5) 血液透析の方にお尋ねします。

あなたの透析は「夜間透析」（午後5時以降の開始）ですか？

1. はい（該当する）	419/2,014	20.80%
2. いいえ（該当しない）	1,577/2,014	78.30%
3. 無回答	18/2,014	0.89%

(6) 血液透析の方にお尋ねします。

あなたの透析回数は？

1. 週1回	13/2,014	0.65%
2. 週2回	150/2,014	7.45%
3. 週3回	1,815/2,014	90.12%
4. 週4回	11/2,014	0.55%
5. 二週3回	6/2,014	0.30%
6. 二週5回	2/2,014	0.10%
7. その他	0/2,014	0.00%
8. 無回答	17/2,014	0.84%

(7) あなたが透析を始めて満何年たちますか？

何年何ヶ月の方は、何年とだけ記入してください。

1. 1年未満	408/2,199	18.55%
2. 1年以上10年未満	1,165/2,199	52.98%
3. 10年以上	521/2,199	23.69%
4. 無回答	105/2,199	4.77%

(8) あなたが透析を受けている病院、診療所は次のいずれですか？（家庭透析やCAPDを受けている方は、管理してもらっている医

療機関についてお答えください。）

1. 国公立大学附属病院・国公立病院・済生会・日赤・社会保険など公的病院	175/2,199	7.96%
2. 私立大学附属病院・私立病院	945/2,199	42.97%
3. 診療所・医院・クリニック	914/2,199	41.56%
4. 無回答	165/2,199	7.50%

(9) あなたの同居している家族は？ 一つ選んで下さい。

1. 独り暮らし	197/2,199	8.96%
2. 配偶者と	624/2,199	28.38%
3. 配偶者と独身の子供	464/2,199	21.10%
4. 配偶者と子供夫婦	220/2,199	10.00%
5. 独身の子供	76/2,199	3.46%
6. 子供夫婦	119/2,199	5.41%
7. 親	89/2,199	4.05%
8. 親と兄弟	49/2,199	2.23%
9. 兄弟	22/2,199	1.00%
10. 親と配偶者	72/2,199	3.27%
11. 親と配偶者と子供	131/2,199	5.96%
12. 福祉施設入所中	7/2,199	0.32%
13. その他	71/2,199	3.23%
14. 無回答	58/2,199	2.64%

(10) あなたは就労していますか？（ただし主婦・学生の方は就労していると答えて下さい。）

1. 就労している	862/2,199	39.20%
2. 就労していない	1,278/2,199	58.12%
3. 無回答	59/2,199	2.68%

(11) 主婦・学生以外の方で「就労している」と答えた方にお尋ねします。

勤務の状況は、次のうちのどれですか？

1. 常勤	254/575	44.17%
2. パート・アルバイト	63/575	10.96%
3. 自営	210/575	36.52%
4. その他	48/575	8.35%
5. 主婦・学生、無回答	287/862	—

(12) 「就労していない」と答えた方にお尋ねし

ます。

そのわけは？

1. 意欲はあるが適当な仕事がない	71/1,278	5.56%
2. 仕事をするのは嫌	7/1,278	0.55%
3. 体に自信がない	206/1,278	16.12%
4. 病状のため不可能	600/1,278	46.95%
5. 仕事をする必要がない	134/1,278	10.49%
6. その他	137/1,278	10.72%
7. 無回答	123/1,278	9.62%

(13) 過去に退職や解雇された方はそれが病気(透析)に関係していると思いますか？

1. 関係している	389/1,215	32.02%
2. 関係していない	571/1,215	47.00%
3. わからない	170/1,215	13.99%
4. その他	85/1,215	7.00%

(14) あなたは腎臓以外のどこかに障害がありますか？ いくつでも答えて下さい。

1. 視力障害	734/2,199	33.38%
2. 聴力障害	299/2,199	13.60%
3. 言語障害	62/2,199	2.82%
4. 歩行障害	481/2,199	21.87%
5. 痴呆など精神障害	65/2,199	2.96%
6. 脳血管障害	168/2,199	7.64%
7. 骨・関節障害	358/2,199	16.28%
8. 心臓障害	412/2,199	18.74%
9. 肝・胆・膵の障害	140/2,199	6.37%
10. 消化管(胃腸の障害)	288/2,199	13.10%
11. 骨盤内臓器(子宮・卵巣・前立腺などの障害)	39/2,199	1.77%
12. その他	86/2,199	3.91%
13. 障害なし、無回答	719/2,199	32.70%

(15) あなたは現在入院していますか？

1. 入院している	300/2,199	13.64%
2. 入院していない	1,883/2,199	85.63%
3. 無回答	16/2,199	0.73%

II. (16)～(19)までは入院している方だけお答え下さい。ー入院している方にお尋ねします。ー

(16) 現在までにどのくらい入院していますか？

1. 1ヶ月未満	53/300	17.67%
2. 1ヶ月以上2ヶ月未満	24/300	8.00%
3. 2ヶ月以上3ヶ月未満	19/300	6.33%
4. 3ヶ月以上6ヶ月未満	15/300	5.00%
5. 6ヶ月以上1年未満	31/300	10.33%
6. 1年以上	126/300	42.00%
7. 無回答	32/300	10.67%

(17) 入院している主な理由は何ですか？ ーつだけ選んで下さい。

1. 合併症の治療のため	60/300	20.00%
2. 透析導入のため	39/300	13.00%
3. シェントの手術のため	12/300	4.00%
4. 身体の障害で通院できないため	54/300	18.00%
5. 通院を手助けしてくれる人がいないため	14/300	4.67%
6. 障害のため自宅で生活できないため	50/300	16.67%
7. 自宅から病院・診療所が遠いため	13/300	4.33%
8. その他	27/300	9.00%
9. 無回答	31/300	10.33%

(18) 透析以外の時間に「介護」を受けていますか？

1. 寝たきりなので全て介護を受けている	56/300	18.67%
2. 一部受けている	135/300	45.00%
3. 全然受けていない	95/300	31.67%
4. 無回答	14/300	4.67%

(19) 前の質問で“1”または“2”と答えた方へ…「介護」は主に誰にしてもらっていますか？

1. 看護婦(士)	127/191	66.49%
2. 家族	50/191	26.18%
3. 付き添い婦	3/191	1.57%
4. その他	6/191	3.14%
5. 無回答	5/191	2.62%

III. (20)～(26)までは入院していない方だけお答

えください。一入院していない方にお尋ねします。—

(20) あなたの主な通院方法はなんですか？ 二つまで選んで下さい。

1. 電車	82/1,883	4.35%
2. バス	281/1,883	14.92%
3. 自家用車	1,341/1,883	71.22%
4. タクシー	424/1,883	22.52%
5. 徒歩	139/1,883	7.38%
6. その他	175/1,883	9.29%
7. 無回答	22/1,883	1.17%

(21) あなたの片道の通院時間はどれくらいですか？

1. 30分未満	1,304/1,883	69.25%
2. 30分以上1時間未満	455/1,883	24.16%
3. 1時間以上2時間未満	95/1,883	5.05%
4. 2時間以上	8/1,883	0.42%
5. 無回答	21/1,883	1.12%

(22) あなたの通院費用は1ヶ月いくらですか？

1. 5千円未満	739/1,883	39.25%
2. 5千円以上1万円未満	551/1,883	29.26%
3. 1万円以上3万円未満	362/1,883	19.22%
4. 3万円以上	114/1,883	6.05%
5. 無回答	117/1,883	6.21%

(23) あなたは通院するのに手助けを受けていますか？

1. いつも受けている	437/1,883	23.21%
2. 時々受けている	298/1,883	15.83%
3. 受けていない	1,064/1,883	56.51%
4. 無回答	84/1,883	4.46%

(24) 前の質問で“1”または“2”と答えられた方へ…  
通院の手助けは、主に誰にしてもらいますか？

1. 配偶者	343/735	46.67%
2. 同居している子供	158/735	21.50%
3. 親	39/735	5.31%
4. 兄弟・姉妹	25/735	3.40%
5. 同居している子供の配偶者	30/735	4.08%
6. 同居していない子供	60/735	8.16%
7. ガイドヘルパー	2/735	0.27%
8. 家政婦・お手伝い	4/735	0.54%
9. 近所の人・ボランティア	8/735	1.09%
10. 透析施設職員	13/735	1.77%
11. 入所施設職員	2/735	0.27%
12. その他	16/735	2.18%
13. 無回答	35/735	4.76%

(25) あなたは通院以外の日常生活で、「介護」を受けたことがありますか？

1. 寝たきりですべて介護を受けている	23/1,883	1.22%
2. 一部受けている	375/1,883	19.92%
3. 全然受けていない	1,323/1,883	70.26%
4. 無回答	162/1,883	8.60%

(26) 前の質問で“1”または“2”と答えられた方へ…

「介護」は主に誰にしてもらいますか？

1. 親	23/398	5.78%
2. 配偶者	244/398	61.31%
3. 親・配偶者以外の同居家族	72/398	18.09%
4. 同居していない親族	25/398	6.28%
5. ホームヘルパー	9/398	2.26%
6. 家政婦やお手伝い	5/398	1.26%
7. 訪問看護婦や保健婦	1/398	0.25%
8. 近所の人やボランティア	2/398	0.50%
9. 施設職員	7/398	1.76%
10. その他	6/398	1.51%
11. 無回答	4/398	1.01%

IV. (27)～(38)までは全ての方が答えて下さい。

—全ての方にお尋ねします。—

(27) あなたの暮らしぶりはいかがですか？（経済状態）

1. まあ心配ない	845/2,199	38.43%
2. 苦しいが何とかなる	1,069/2,199	48.61%
3. 苦しくて破綻に近い	157/2,199	7.14%
4. その他	14/2,199	0.64%
5. 無回答	114/2,199	5.18%

(28) あなたの世帯のこの一年間の総収入（家族全員）はいくらぐらいですか？

1. 200万円以下	532/2,199	24.19%
2. 300～400万円ぐらい	716/2,199	32.56%
3. 500～600万円ぐらい	326/2,199	14.82%
4. 700～800万円ぐらい	195/2,199	8.87%
5. 900万円以上	160/2,199	7.28%
6. 無回答	270/2,199	12.28%

(29) あなたの医療保険や公費負担医療制度の種類はなんですか？（医療機関の係りに確かめて、あてはまるものすべてを記入して下さい。）

1. 政管健保	344/2,199	15.64%
2. 船員保険	14/2,199	0.64%
3. 日雇健保	10/2,199	0.45%
4. 組合健保	233/2,199	10.60%
5. 共済健保	112/2,199	5.10%
6. 国民健康保険	1,098/2,199	49.90%
7. 退職者医療	69/2,199	3.10%
8. 労災保険	11/2,199	0.50%
9. 結核予防	0/2,199	0.00%
10. 生活保護	62/2,199	2.80%
11. 自賠	12/2,199	0.50%
12. 更生医療	603/2,199	27.40%
13. 育成医療	7/2,199	0.03%
14. 原爆医療	5/2,199	0.02%
15. 老人医療	480/2,199	21.80%
16. 自費	20/2,199	0.90%
17. その他	31/2,199	1.41%
18. 無回答	147/2,199	6.68%

(30) あなたは医療保険の「本人」ですか？

1. 本人	1,270/2,199	57.75%
2. 家族	781/2,199	35.52%
3. 無回答	148/2,199	6.73%

(31) あなたは都道府県の重度身体障害者医療費助成制度（マル障あるいはマル福）を受けていますか？

1. 受けている	1,431/2,199	65.08%
2. 受けていない	497/2,199	22.60%
3. 無回答	271/2,199	12.32%

(32) あなたは現在公的年金を受けていますか？

1. 受けている	1,795/2,199	81.63%
2. 受けていない	274/2,199	12.46%
3. 無回答	130/2,199	5.91%

(33) 前の質問で“1”「受けている」とお答えの方にお尋ねします。  
どのような種類の公的年金ですか？

1. 老齢年金	567/1,795	31.59%
2. 障害（基礎）年金一級	534/1,795	29.75%
3. 障害（基礎）年金二級	396/1,795	22.06%
4. 障害年金三級	80/1,795	4.46%
5. その他の公的年金	162/1,795	9.03%
6. 無回答	56/1,795	3.12%

(34) あなたがこの1年間に自己負担した医療費はいくらぐらいですか？

1. 5万円以下	970/2,199	44.11%
2. 5万円以上10万円未満	216/2,199	9.82%
3. 10万円以上20万円未満	293/2,199	13.32%
4. 20万円以上30万円未満	73/2,199	3.32%
5. 30万円以上50万円未満	67/2,199	3.05%
6. 50万円以上100万円未満	12/2,199	0.55%
7. 100万円以上150万円未満	10/2,199	0.45%
8. 150万円以上200万円未満	4/2,199	0.18%
9. 200万円以上300万円未満	5/2,199	0.23%

10. 300万円以上	0/2,199	0.00%
11. その他	0/2,199	0.00%
12. 無回答	549/2,199	24.97%

- (35) 外来透析の検査包括化（まるめ）が平成6年4月から始まり、年々透析に対して制限が厳しくなってきました。それによって透析の治療の内容が以前と現在とでは変わった点がありますか？

1. よくなった	203/336	60.42%
2. わからない	1,576/2,199	—
3. 悪くなった	133/336	39.58%
4. 無回答	287/2,199	—

- (36) 平成10年5月より、難病指定患者の医療費一部負担金が導入されました。透析に関しては現在原則として無料ですが、将来の事を考えると決して例外ではなく自己負担が導入される可能性があるかと危惧しています。そこで、次の質問に答えて下さい。

1. 透析に関して現在のままがよい（更生医療指定医療機関でない施設は食費負担あり）	959/2,199	43.61%
2. 少しくらいの負担増はやむをえない	148/2,199	6.73%
3. 負担金導入は反対（生活できなくなる）	92/2,199	4.18%
4. わからない	10/2,199	0.45%
5. その他	0/2,199	0.00%
6. 無回答	990/2,199	45.02%

- (37) 平成12年4月から介護保険制度が始まります。そして、老人保険も改定され最低でも1割負担、介護保険1割負担などが検討されています。この負担率に対してどう思われますか？

1. 最弱者である要介護の有病老人に対する負担としては多すぎる	1,181/2,199	53.71%
2. 受益者負担の観点から1割程度の負担はやむをえない	398/2,199	18.10%

3. 保険サービスの内容が充実しているのであれば、負担がもっと多くてもよい	41/2,199	1.86%
4. わからない	375/2,199	17.05%
5. 無回答	204/2,199	9.28%

- (38) もし「介護」が必要になった場合、費用は別として、どのような施設への入所（入院）を希望されますか？

1. 専門でなくても、透析のできる介護施設を希望する	298/2,199	13.55%
2. 透析のために通院できれば、透析のできない介護施設でも希望する	77/2,199	3.50%
3. やはり、透析専門の医療機関に入所（入院）を希望する	1,542/2,199	70.12%
4. わからない	141/2,199	6.41%
5. 無回答	141/2,199	6.41%

- ※ 介護施設とは、特別養護老人ホーム、老人保険施設、療養型病床群などのことです。  
—質問は以上です。—

### 3 アンケート結果の概要

- 1) 対象者の性別、年齢について〈設問(1)(2)〉  
対象者2,199人の内、男性1,257人（57.16%）、女性942人（42.84%）であり、全平均年齢は60.66歳、男性の平均年齢60.33歳、女性の平均年齢61.08歳となった。65歳以上の人は、920人（41.84%）の内、男性521人（56.63%）、女性399人（43.37%）であった。

すなわち、透析患者10人の内4人強が65歳以上ということになる。最低年齢は、男性14歳、女性12歳、最高年齢は、男性95歳、女性91歳であった。

- 2) 透析導入の原因、透析の方法などについて〈設問(3)(4)(5)(6)(7)(8)〉

原因として「糖尿病により腎不全になった」とし

た人が446人(20.28%)である。透析の方法として「血液透析」が2,014人(91.59%)、透析回数は「週3回」が1,815人(90.12%)、「夜間透析」は419人(20.80%)であった。「CAPD」と回答した人が50人(2.27%)は、実際の印象からかなり少ないようである。医療機関を通じてのみのアンケート用紙の配布回収であり、医療機関への受診機会が少ないことが、「血液透析」に比べ回収率を低くしているのであろうか。

「透析をはじめて何年たちますか」に対しては「1年未満」408人(18.55%)、「10年以上」521人(23.69%)、「25年以上の人」が24人。最長者は32年と答えた68歳の男性である。

医療機関については、「診療所、医院、クリニック」に914人(41.56%)、「私立病院、私立医大」に945人(42.97%)で両者で大半を占めている。

### 3) 障害または合併症について〈設問(14)〉

障害、合併症の多いほうから5項目あげると、①「視力障害」734人(33.38%)、②「歩行障害」481人(21.87%)、③「心臓障害」412人(18.74%)、④「骨・関節障害」358人(16.28%)、⑤「聴力障害」299人(13.6%)、の順となる。10人の内3人強が視力に、2人強の人が歩行に問題を抱えている。重複して障害を持っている人も多いと思われる。

### 4) 入院、介護に関することについて〈設問(15)(16)(17)(18)(19)〉

「入院している人」は300人(13.64%)おり、「入院期間1年以上」が126人(42.00%)である。「入院している主な理由」では「合併症治療のため」60人(20.00%)、「身体の障害で通院できないため」が54人(18.00%)、「障害のため自宅で生活できないため」が50人(16.67%)である。「入院中の介護について」は「寝たきり」56人(18.67%)、「一部介護を受けている」135人(45.00%)となり、

全300人の入院患者の内191人(135人+56人(18.67%+45.00%=63.67%))に介護が必要である。これら入院中の介護について「主に誰にしてもらっていますか」では、「看護婦(士)」は127人(66.49%)、「家族」は50人(26.18%)となった。ここでは表示できていないが、入院患者の年齢分布は全300人の入院患者の内194人(64.67%)が65歳以上である。

### 5) 生活、通院、その手助けなどについて〈設問(9)(20)(21)(22)(23)(24)〉

「同居の家族」は「配偶者と」が一番多く624人(28.38%)、「独り暮らし」は197人(8.96%)である。表には示していないが、65歳以上の独り暮らし83人、うち男性は22人、女性は61人であった。

「通院手段」で最も多いのは「自家用車」1,341人(71.22%)、ついで「タクシー」424人(22.52%)、「バス」281人(14.92%)の順となった。10人中7人強が自家用車通院である。通院に要する時間と費用は、「30分以内の人」1,304人(69.25%)、又、その費用が「月額1万円以下の人」1,290人(39.25+29.26=68.51%)、「通院に手助けを受けているか」に対しても「いつも」と「時々」の合計は735人(39.04%)、通院患者の10人の内4人近くの人が手助けを要すようである。「通院の手助けは誰にしてもらいますか」では、「配偶者」343人(46.67%)、「患者の子供」158+60=218人(21.50+8.16=29.66%)で大半となっている。

### 6) 就労の状況について〈設問(10)(11)(12)(13)〉

全対象者の内、主婦・学生を含めて「就労している」と答えた人は862人(39.20%)、主婦・学生などの無回答を除くと、575人となり、実質仕事に就いている人は全対象者比575人/2,199人で26.15%となる。この内「常勤」「自営」の254人+210人=464人は夜間透析者419人(設問5)に

重なる人達であろう。「就労していない」1,278人についてみると、「そのわけ」の第1位は「病状のため不可能」が600人(46.95%)、ついで「体に自信がない」が206人(16.12%)となり、63.07%の人が病状、体調を理由に就労していない。

「過去に退職や解雇された方はそれが病気(透析)に関係していると思いますか」に対して「関係している」が389人(32.02%)にのぼった。

7) 暮らしぶり(経済状態)や、医療保険などについて〈設問(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)〉

生活について「苦しいと感じている人」(「苦しいが何とか耐える」と「苦しくて破綻に近い」を合わせて)は1,226人(55.75%)となった。1年間の総収入(家族全員)では、「200万円以下の人」532人(24.19%)であった。

医療保険、公費負担医療制度の利用の順は、①「国民健康保険」1,098人(49.90%)、②「更生医療」603人(27.40%)、③「老人医療」480人(21.80%)、④「政管健保」344人(15.64%)、⑤「組合健保」233人(10.60%)などで、「生活保護」は62人(2.8%)となった。又、公的年金を受けている人は1,795人(91.63%)にのぼる。「老齢年金」567人(31.59%)について「障害年金一級」534人(29.75%)、「障害年金二級」396人(22.06%)の順となった。医療費の自己負担額については、「5万円以下」970人(44.11%)が最も多く、ついで「10万円～20万円」293人(13.32%)、「5万円～10万円」216人(9.82%)となった。

8) 将来に関すること、などについて〈設問(35)(36)(37)(38)〉

外来透析の検査包括化の影響について、回答のあった内、「わからない」と「無回答」を除いた336人の内、「よくなった」が203人(60.42%)、「悪くなった」133人(39.58%)である。保険制度の

厳しさが増すなか、現場では医療の進歩を感じているのであろうか。現行の透析医療費の一部負担については、「現在のままがよい」959人(43.61%)で、将来の介護保険、老人保険の一割負担が検討されていることに対して、「多すぎる」1,181人(53.71%)、「一割程度やむをえない」398人(18.1%)などである。介護が必要になったときの入所(入院)希望では、「透析専門の医療機関を希望する」が、1,542人(70.12%)と大半を占めた。介護より透析重視の回答となった。

## おわりに

わが国そして岡山県において、慢性血液透析が本格的に行われるようになってほぼ30年余りが経過している。この間の、医療技術の進歩は目覚ましく、高機能膜ダイアライザー、活性型ビタミンD<sub>3</sub>、エリスロポエチン、低分子ヘパリンなどをあげることができる。またこの高額な透析医療の普及をわが国の保険制度が支えてきたのも事実である。現在岡山県下の慢性透析患者数約3,000人、透析施設52医療機関を数えるまでになり、全国では慢性透析患者数約187,000人、透析施設約3,100医療機関を数えると聞く。このことはわが国の透析医療の誇るべき成果ととらえることができよう。

一方近年保険制度の上で検体検査、透析処置の診療報酬包括化が実施され、診療内容の弾力性が大きく損なわれてきたことは否定できない。さらに、現在この制度を含めた医療制度の改革が計画され進行しているが、慢性腎不全という疾病をにないながら懸命に生活する患者に、さらなる負担を課するものでないことを切に祈るばかりである。

今回このアンケートにもみるように、透析患者数の増加および高齢化、長期透析による合併障害、それに伴う介護、介助の必要性の増大、さらに家族への負担、経済的な圧力など、個々の患者のQOLを阻害している多くの難問が山積みしている。保険・医療・福祉が特に注目されている現今こそ、このよ



うな透析患者の特徴ある実態を提示し、患者と現場を担う医師は、共に将来へのよりよい改革に対して創意、工夫に努めることを再確認するとともに、これら制度に対してもよりよい改革を大いに期待している。